

# 伝える力強化研修

## 1. 研修の目的

相手の気持ちを汲んだ上で、伝わるように伝える「伝える力」を学ぶ。

## 2. 研修の全体像

### 研修のゴールの共有（目的の共有）

↓  
伝え手の役割について、自分たちの考えを共有する

↓  
伝え手として会話に臨む際のマナーを学習、実践し、相手に聴く耳を持って頂いた上で、  
伝わるように伝えるノウハウを身につける

↓  
自己統制による建設的な対話の実践  
アサーションコミュニケーションの実践

↓  
報告・連絡・相談の目的と方法、留意点を知り、円滑な業務遂行能力を身につける

↓  
共に対話を通じて得た結論を納得のもとに共有した際、  
信頼関係が生まれ、その積み重ねが強固な人間関係を構築する

## 3. 研修内容

対象者：全職員

内 容	
9:00	<b>オリエンテーション</b>
	<b>1. 伝え手の役割とは何か</b>
	<b>2. 自己統制によって、建設的な対話を進める</b>
	<b>3. 優れた伝え手に必要な考え方と知識技術</b>
	<b>4. 質疑応答</b>
16:30	

- 研修の目的と全体像。
- 参加者全員で伝え手の役割認識を明確にし、共有します。その後、講師から正確な役割内容を伝え（皆の意見を否定せず、補足説明する形）、自身のそれとのギャップを埋めます。正確な役割認識をすることで、すべての知識技術について、その必要性を感じ、納得のもと、自発的に学ぶ姿勢が芽生えます。
- 過去の対話時における自己を振り返り、どのような場面でどのような傾向が心と口調に生じるのか知ります。その傾向をもって自己統制しながら建設的な対話に臨みます。
- 対話の当事者には、相応のマナーが必要であることを知ります。
- 正しい報連相の目的、方法、留意点を知り、その能力向上を図ります。